

# 交通誘導のポイント

## 心構え

- 誘導者の動作や合図が、子どもたちの尊い命を守るのだ、という自覚を持って行いましょう。
- 車両を停止させる権限はありません。車両の運転手の協力を得ながら、安全に誘導しましょう。

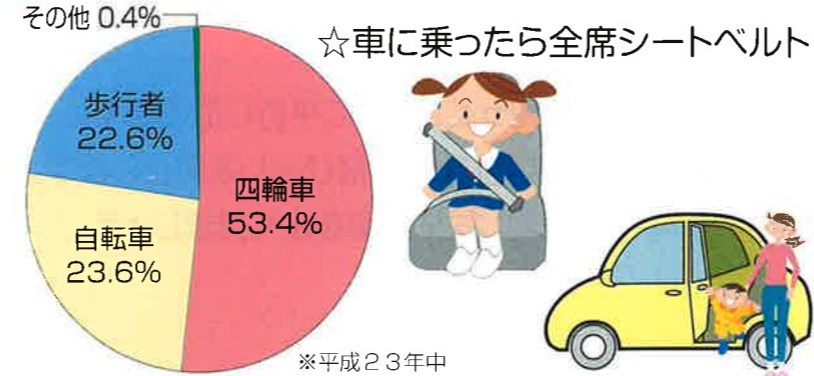
## 誘導時の服装

- 動きやすく、目立つ服装で
- 両手はフリーに
- 視界を遮るような帽子などはかぶらない
- サンドル、ヒールのある靴は履かない
- 雨天時はカッパなどを着用



## 子どもの交通事故の特徴

- 四輪車同乗中の死傷者が全体の約半数



☆乗降時は、子どもを先に乗せ、最後に降ろす

- 小学生の交通事故は、歩行中の飛び出し、自転車の安全不確認が多い

☆「止まる」「見る」を繰り返し指導  
☆自転車に乗るときは、必ずヘルメットを



## 交通安全あいことば

朝のあいさつ あいうえお  
あわてず  
いそがず  
うるさくいわず  
えがおで  
おくりだす

子どもと一緒に、自宅付近や通学路を歩いてみましょう。  
どんな危険があるか、どうすれば安全かを、その場で具体的に指導しましょう。

## 保護者の

# 交通安全テキスト

悲惨な交通事故から子どもを守るために

子どもを交通事故から守るためには、日々家庭での指導が大切です。交通安全は一日にしてならず。保護者のみなさんがお手本を示しましょう。



このテキストは、交通誘導要領をまとめたものです



(財)茨城県交通安全協会  
茨城県警察



# 誘導の手順

早めに

大きく

はっきりと

## ①子どもを止める



- ① 左手に旗を持って、道路に平行に立ちます。
- ② 旗は子どもの前に出し、飛び出しを防止します。
- ③ 車両の流れや、右左折車をよく見ましょう。

## ②車両に止まってもらう

<信号機がある場合>



<信号機がない場合>



運転手さんと  
アイコンタクトを  
とりましょう

- ① 信号が青になったら、旗を右手に持ち替え、斜め前方に高くあげます。
- ② 右左折車両の停止を確認したら、水平に肩の高さまで下ろします。
- ③ 左手は、子どもの前に出したまま、飛び出しを防止します。

- ① 車両の流れがきれいになったら、旗を右手に持ち替え、斜め前方に高くあげます。
- ② 車両の停止を確認したら、水平に肩の高さまで下ろします。
- ③ 左手は、子どもの前に出したまま、飛び出しを防止します。

## ③横断の誘導



- ① 安全を確かめたら、右手は旗を出したまま、左手で誘導します。
  - ② 誘導中も、車両の動きに注意を払い、安全確認を続けましょう。
- ※「早く、早く」などと急かしたり、青色点滅で横断させることは、絶対にやめましょう。

## こんなときは・・・



### Q どこに立てばいいかしら・・・

- ◎車両の進行方向から見て、横断歩道の一番手前に立ちましょう。
- ◎歩道のあるところでは、歩道上に立ち、歩道がないところでは、できるだけ道路の端に立ちましょう。
- ◎横断する子どもに気を取られ、道路に出ないように注意しましょう。

### Q 二人一組のときは・・・

<1人の場合>



<2人の場合>



- ◎二人での指導は、二人の息を合わせなければいけません。事前によく打ち合わせておき、協力し合って行いましょう。

**子ども自身にも安全確認をさせて横断させましょう。**